



令和7年度 学校経営報告

校長 緒方 礼子

4月にお示しさせていただいた学校経営計画のまとめをいたしましたので、その概要をご報告させていただきます。なお、詳細につきましては、学校HPに掲載いたしましたので、そちらをご覧ください。

A (達成) 9割以上	B (おおむね達成) 8割以上
C (一部達成に至らなかった) 7割程度	D (達成できなかった) 7割以下

○「確かな学力」を身に付けさせるために

楽しくわかる授業の実践

- ① 「わかる・できる」を実感する授業実践【教師：78%、保護者：99%、児童：85%】【B】
- ② 教師の授業力の向上【教師：85%】【B】
- ③ ICT機器（学習用端末）の効果的な活用【教師：83%、保護者：96%、児童：86%】【A】
→学び合いのための手立て（相互授業参観の目標）はおおむね達成。校内研究を通してICTを効果的に活用した授業実践ができた。また、小中一貫学力定着プロジェクト会議での学力調査の分析と、授業改善に関する研修を計画的に実施できた。さらに、4年生以上で、教科担任制による教師の専門性を活かした授業が展開できた。

基礎・基本の定着

- ① 朝学習・補習の実施【86%】【B】
- ② 学習規律の徹底【88%】【B】
- ② 家庭学習（学年×10分+10分）の定着【82%】【B】
- ③ はちおうじっ子ミニマムの定着率（6年生）【国語：8割以上75%（前年度比+8%） 算数：70%（前年度比+13%）】【C】
→学習規律の定着はおおむね達成。家庭学習については、放課後学習教室（放課後フライト）の活用が一定の成果を上げている。6年生は、3学期に「全問正解チャレンジ」に取り組みせ、はちおうじっ子ミニマム80%以上の達成を目指す。

その他の取組より

- ・外国語専科による専門性の高い外国語（5・6年生）・外国語活動（3・4年生）の指導【A】
→3年生以上の外国語活動・外国語科では、外国語専科による専門性の高い指導が実施できた。6年生実施の「英検support program ESG」では、昨年度より、外国語に対する「関心・意欲」が9割以上と高い数値であった。
- ・家庭学習や自主学習の定着に向けた取組【A】
→「由井ータイム（1回/週）」及び「放課後フライト（4回/週）」による放課後を活用した補習を実施し、学力定着、家庭学習定着に努めた。
- ・読書活動の推進【A】
→全学年1回以上/月の読み聞かせ、及び、3回/年の読書旬間実施。放送での読み聞かせや図書室前のおすすめの本の紹介コーナー等読書推進の取組を実施できた。
- ・プログラミング教育の充実（3年生以上）【A】
→外部講師を活用したプログラミング学習を実施できた（2～4年生）。また、3・4・5年生はプログラミングコンテストに応募し、金賞（1名）銀賞（2名）銅賞（13名）を受賞した。
- ・地域に学ぶ機会の拡充（郷土学習）【全学年】 【B】

→年間計画通り実施できた。

- ・「ふゆのあそびをしょうかいしよう（昔遊び）」（1年生）
- ・「まちのすてきを見つけよう」（地域施設の訪問）（2年生）
- ・スーパーマーケット見学、地域巡り（3年生）
- ・障害理解、「つくろう、北野未来予想図」（4年生）
- ・米作り（5年生）
- ・「日光ってどんなところ？」（八王子市との関連）（6年生）
- ・学校の歴史を歌い繋ぐ取組【A】

→「由井一物語」の作曲者の平井 李枝先生によるコンサートの実施

- ・伝統文化体験【B】

→車人形体験（3・4年生）・八王子祭りと太鼓体験（3年生）

- ・音楽の取組の充実【B】

→打越中学校の音楽祭の鑑賞（6年生）

→文化芸術推進事業の取組として、音楽指導と成果発表（6年生）

- ・美術鑑賞の取組【A】

→展覧会での学年及びたて割り班での作品の鑑賞

→展覧会での子ども学芸員による作品紹介（6年生）

→中学校学習発表会での中学生の作品鑑賞（6年生）

→各学年の図工作品を「由井一美術館」に展示し、鑑賞し合う機会の設定

○「豊かな人間性」を育むために

人権教育の推進

① 異学年・異年齢・障がい者等との交流による人権意識の向上【74%】【C】

→昼休みを使ったロング集会を年間15回以上実施。展覧会に合わせた全校共同作品作りやたて割り班での鑑賞活動など、たてわり班での交流を充実させることができた。また、異学年による学習の成果発表による学び合いを実施できた。

→幼稚園・保育園児との交流（1・5年生）、副籍交流（1・4年生）及び障がい者との交流事業（4年生）も計画通り実施できた。【A】

② 校内相談体制の充実・いじめアンケート、「子供見守りシート」実施によるいじめ早期発見・早期対応【教師：93%、保護者：85%、児童：88%】

→いじめ対策委員会（1回/週）及び研修会（3回/年）を確実に実施。いじめ案件に対して、臨時いじめ対策委員会の開催等、早期対応を心がけ組織的な対応の徹底が図れた。【B】

道徳教育の充実

- ・「考え、議論する道徳」の実施といじめ問題に対応できる資質能力の育成【88%】【B】

→概ね意識して実施できた。2学期の道徳授業地区公開講座では、全学年、指導案を作成し、ねらいや内容項目を明確にさせた他、保護者向けプリントを作成して事前配布することで、学校と家庭・地域とがねらいを共有した道徳授業を実施することができた。

感性を磨く教育

- ・展覧会や由井一美術館の活用、地域学習を通じた、学校愛や地域愛の醸成と豊かな表現力の育成【82%】【B】

→展覧会での全校での鑑賞活動の実施と、子ども学芸員を活用した豊かな表現力の育成を図った。

→地域資源を活用した地域学習は全学年、年間計画通り実施できた。2年生は近隣施設を訪問して地域で働く方と交流を通して、地域を大切にしようとする意欲を高めた。

→6年生は打越中学校の学習発表会（作品展示）の参観を実施できた。

→市民センター祭りへの小中3校の図工作品の出品。相互鑑賞活動を実施できた。

その他の取組より

- ・肯定的な児童理解（いじめアンケートを実施し、児童理解に活用）【A】
- ・「ふれあい月間」の取組（7月・3月）、いのちの大切さを共に考える日（6月）、「生命（いのち）の安全教育」（9月）【A】
- 「ふれあい月間」のいじめアンケートの確実な実施と聞き取り。「いのちの日」「生命（いのち）の安全教育」の校長講話と全学年「生命尊重」に関連した道徳授業の実施。
- 養護教諭による「生命（いのち）の安全教育」の実施
- ・SNSトラブル防止授業
- セーフティ教室を活用し、5年生以上でSNSに関する出前授業を実施。【B】

○「健やかな心と体」を育むために

体力向上策

- ① 体力テストの分析及び、体力向上推進計画の数値目標達成に向けた授業改善【教員：86%】
【B】
→体力テストの結果分析による持久力の向上を目指し、跳びチャレンジ及び、持久走週間の取組を継続。
- ② 体育的取組の充実による運動意欲の向上【教員：86%】【B】
→4年生以上の体育科の教科担任制による専門性の高い授業実践、及び体育の相互授業参観を通じた学び合いによる授業改善を図った。また、小教研で本校教員によるバスケットボール（5年生）の授業を公開し、校内のみならず市内の教員が体育の授業について学び合う機会を設定することができた。

健康な体づくり

- 養護教諭・栄養士の他、関連機関と連携した心と体の健康にかかわる授業の実施
【教員：86%】【B】
- 栄養士による食育授業を全学年で実施。（1～3年：野菜の皮むき、4年：食品ロス、5年：だしの飲み比べ・地産地消、6年：スポーツと栄養）。また、給食の時間を利用して、全学級に食育指導（ランチミーティング3回／年）を実施した。
 - 6年間の食育のまとめとして、「はちおうじっ子ミニマム【食育版】」を実施。（6年生）
 - 養護教諭による保健・健康指導（移動教室前の生理指導、歯科医による歯磨き指導、専門機関と連携した薬物乱用防止教室）、長期休業前の生活リズム調査（全学年）を実施できた。

その他の取組より

- ・QU調査（5年）を基に一人一人に寄り添う指導の徹底【B】
 - ・「交通事故ゼロ」【100%】「あいさつ」【児童：85%】「規範意識の確立」【児童：91%】
- を目指した生活指導の充実【A】
- 児童会を中心としたあいさつ運動や、打越中学校と連携した「おは（8）ようの日（毎月8日の合同あいさつ運動）」を実施。学校全体のあいさつの定着率が高い。【B】
 - ・キャリア教育の推進【保護者：72%、児童：70% *わからない 保：23%、児：21%】【C】
 - キャリアパスポートへの記入は徹底できた。展示会を学年だけでなくたて割り班で鑑賞したり、6年生による子ども学芸員の導入、日常的なきょうだい学年の学習交流の実施、6年生の中学校授業体験や部活見学、1・5年生の幼稚園・保育園児との交流等、成長を実感させ、新たな希望や目標をもって学校生活を送る学習に取り組んできた。
 - キャリアコーディネーターによる6年生を対象にしたキャリア教育を実施した。八王子市の人材だけでなく、身近な保護者・地域の方を講師にした職業教育を実施できた。
 - 学校評価での、「わからない」という回答は、相変わらず2割以上いる。引き続き一つ一つの取組のめあてを明確にしたり、学校だよりや学校HPによる周知を図ったりする。
 - ・危機回避能力を高める指導の充実【保護者：91%、児童：94%】【A】

→ねらいを明確にした毎月の避難訓練の実施や、生活指導朝会等での安全教育により、防災や安全な生活の指導に対する評価が高い。

○保護者・地域と共に歩む開かれた学校

学運協、保護者・地域との連携の充実

・学校運営協議会及び地域連携に関する情報発信、推進委員と連携した放課後子ども教室及び朝の子ども教室の週5日の実施、地域及び地域人材を活用した教育活動の実施【教師：98%、保護者：91%、児童：85%】【A】

→学校運営協議会だよりを年間3回に発行。学校HPに地域関連の記事を68回以上アップロードした。また、朝及び放課後子ども教室5日/週の実施。米作り（5年生）、整備活動（委員会）、読み聞かせの取組での地域人材の活用を図った（全学年）。

→町会や青少対主催の「北野ストリートフェスティバル」「青少対ふれあいコンサート」に児童の有志が参画し、ソーラン節や愛唱歌を披露した。保護者・地域の方から高い評価を受けるとともに、参加した児童にも充実感や達成感を味わわせることができた。

その他の取組より

・家庭や地域への情報発信の充実【保護者：97%】【A】

→定期的な情報発信（学校だより、学年だより、HP、home&school）、児童参加型の道徳授業地区公開講座（テーマ「思いやりの心を育てる」）、「子供見守りシート」（保護者と連携したいじめ防止の取組）の4月当初の全児童実施によるいじめ早期発見・早期対応の取組を行った。

・学校運営協議会（11回/年）の実施【A】

→台風により1回中止（10回開催）。学運協主催による漢字検定の他、新たに中学校を会場とした漢字・英語検定を実施した。

→学運協委員が参画したキャリア教育（6年生）を実施

・学校評価の充実（PDCAサイクルの確立）、年2回授業アンケート、自己評価、行事ごとの保護者アンケート、生活習慣アンケートの実施と分析、公表【A】

→2回/年の授業アンケート（児童）と学校評価（保護者）の実施、行事ごとのアンケート、休み明けの生活習慣アンケートを通して、学校と家庭と協働した学校運営を行うことができた。

・「朝・放課後子ども教室」の充実 週5日間実施【A】

→朝及び放課後子ども教室を週5日実施できた。今年度より、推進委員会の協力のもと、放課後学習教室（放課後フライト）を（3回/週→3学期より4回/週）導入し、家庭学習の定着や補習として活用できた。

・小中一貫教育取組計画に基づいた打越中・長沼小との協働活動の推進【保護者：95%、児童：75%】【B】

→小中一貫教育の日での打越中学校地区の各小中学校の授業参観・研修会、情報交換を始め、学力向上プロジェクト会議（国語・算数）による学力に関する話し合いを5回実施した。また、年間を通した小中合同の挨拶運動の実施、6月：中学校授業体験と部活動紹介（6年生）、7月：職場体験（中学2年生）、10月：小学校運動会への中学校ボランティア部の参加、11月：打越中学校合唱祭りハーサルの鑑賞（6年生）の直接交流のほか、青少対主催の地域清掃や北野ストリートフェスティバル、ふれあいコンサートでの交流等、地域行事での交流も充実できた。

→今年度より、夏休み子ども教室開催時の中学生ボランティアの参画、中学校バレーボール部への参加（5・6年生）、夏休み中の中学校部活動の体験（4～6年生）、中学校を会場とした小中合同の漢検・英検の実施（5・6年生）等、児童・生徒の合同の活動を充実させることができた。

・保幼小中の共通実践の取組【B】

→年間4回の保幼小連携会議では、架け橋期のプログラムの検討を行うことができた。また、新1年生保護者会資料を共有し、保育園での保育内容に反映させることができた。

令和8年度 教育課程

令和8年度の主な行事

- 4月 6日(月) 始業式
- 4月 7日(火) 入学式
- 6月 24日(水) ハッピーフェスティバル
- 7月 19~21日(日~火) 日光移動教室(6)
- 7月 24日(金) 1学期 終業式
- 8月 27日(木) 2学期 始業式
- 9月 3日(火) 学校公開・セーフティ教室
- 9月 17・18日(木・金) 高遠移動教室(5)
- 10月 17日(土) 運動会
- 11月 27・28日(金・土) 音楽会
- 12月 25日(金) 2学期 終業式
- 1月 8日(金) 3学期 始業式
- 1月 22・23日(金・土) 学校公開
 - ・道徳授業地区公開講座
- 3月 24日(水) 卒業式
- 3月 25日(木) 修了式

かしこく

「よく考え主体的に学ぶ児童」の育成

基礎・基本の定着と主体的に学ぶ姿勢の育成

- ・1分間チャレンジ(計算)の継続(全学年)
- ・教科担任制(高学年)の導入
- ・外国語活動専科の導入(3・4年)
- ・漢字検定の実施(3回/年 学運協主催)
- ・はちおうじっこミニマムの完全習得に向けた取組の強化(6年生)
- ・英語検定の実施(6年生)



「個別最適な学び」「協動的な学び」の推進

- ・学習用端末を効果的な活用した授業(1回以上/日)
- ・「話し合い活動」を取り入れた授業の推進
- ・八王子市情報活用能力系統表に基づく計画的な技能向上の取組(タイピング・プログラミング)

算数科の個に応じた指導の実施

- ・少人数及び習熟度別指導の実施(全学年)

読書活動の推進

- ・全学年、読み聞かせ(1回/月)及び、読書週間(3回/年)の実施

家庭と連携した家庭学習の習慣化

- ・放課後学習教室(4回/週)を活用した自主学習の推進(学年×10分+αの家庭学習の習慣化)

地域の特色を生かした魅力ある学習の展開

- ・地域協力者による授業(地域学習・田植え・昔遊び・福祉体験・プログラミング・大学生との交流など)
- ・地域施設の活用(ニスイ工場、スーパーアルプス、福祉施設)



令和8年度の教育目標

人権尊重・社会貢献の精神に基づき、21世紀の共生社会を生き抜く力を育成することができるよう、児童・教職員・保護者・地域がともに「学び合い、育ち合う学校」をめざす。

- あたたかく
- ◎かしこく
- たくましく

☆「かしこく」を重点目標とします。

「心身ともに健康で心豊かな児童」の育成

全校での運動的取組の継続

- ・縄跳びチャレンジ、持久走週間の実施

体力向上の取組

- ・アスリートによる出前授業

キャリア教育の推進

- ・全学年で系統的なキャリア教育の実施
- ・地域協力者による出前授業

健康教育・食育の推進

- ・栄養士と連携した全学年での食育授業(野菜の皮むき、だしの飲み比べ、地産地消学習)
- ・生活リズム表を活用した生活習慣指導
- ・専門家による歯磨き指導、薬物乱用防止教室、



がん教育

あたたかく

「認め合い助け合う児童」の育成

異学年等交流活動の充実

- ・たてわりロング集会(年間15回)・ゲーム集会(1回/月)による異学年交流
- ・特別支援学校の副籍児童をはじめとした障害のある方とのふれあい活動
- ・シャイニーステージによる自己表現の場の設定
- ・幼児や中学生等との交流活動

教育的ニーズに応じた個別支援の充実

- ・登校支援コーディネーターを中心とした支援体制の構築、個に応じた支援の継続
- ・特別支援教育の推進、研修会の実施

「地域でよりよく生きる児童」の育成

地域に開かれた学校づくり

- ・学校と地域の連携・協働による取組の充実(漢字検定・放課後子ども教室・地域防災訓練・地域行事等)
- ・地域活動の積極的な評価(通知表に記入)

保幼小中との連携の強化

- ・小中一貫教育基本方針に基づいた児童・生徒の9年間の育成(学力定着プロジェクトチームによる学力定着・向上策の実施・いじめ防止の取組、生活指導の共通実践、部活動への参画、漢検・英検の実施)
- ・年長児と5年生の交流、小学校体験、教職員同士の交流、架け橋期のカリキュラムの共通実施